



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月12日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5210 URL http://www.yamamura.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貫 正義 TEL 06-4300-6000
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,064	△20.4	△893	—	△1,728	—	△1,376	—
2020年3月期第1四半期	17,659	△2.6	295	93.2	531	74.2	337	137.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,664百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △116百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△134.77	—
2020年3月期第1四半期	32.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	102,607	51,575	50.0
2020年3月期	108,175	53,499	49.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 51,286百万円 2020年3月期 53,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	31,000	△9.8	△1,400	—	△3,100	—	△3,200	—	△313.30
通期	58,000	△13.9	△3,000	—	△6,100	—	△5,600	—	△548.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	11,145,249株	2020年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	931,314株	2020年3月期	931,282株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	10,213,962株	2020年3月期1Q	10,493,115株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急激に悪化し、厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後、景気は下げ止まりつつありますが、国内外における感染症のさらなる拡大への懸念や米中対立の動向等、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは長期ビジョンとしての“ありたい姿”を「環境に配慮しながら安心・安全を提供し、次世代に誇りを持って引き継ぐために成長し続ける企業グループ」と定義いたしました。そして当連結会計年度より「Change and Challenge with You」というスローガンを掲げた3ヵ年の新中期経営計画をスタートさせました。新中期経営計画では「環境変化に適応した運営体制の構築」「投資効率の追求と収益体質の確立」「事業の拡大と成長戦略の推進」「社会のニーズに応える製品・サービスの展開」「従業員の能力が最大限発揮される職場環境の構築と次世代の育成」という5つの経営方針を推進し、グループ一体となってさらなる業績向上に取り組んでまいります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

なお、2020年4月1日付で山村倉庫株式会社を分割会社、山村プラスチックプロダクツ株式会社を分割承継会社とする会社分割を実施しております。これに伴い、従来物流関連事業に含まれていた山村倉庫株式会社について、当第1四半期連結会計期間より、山村倉庫株式会社を物流関連事業、山村プラスチックプロダクツ株式会社をプラスチック容器関連事業に区分しております。また、前年同期の数値についても当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に変更して表示しております。

① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、国内において新型コロナウイルス感染症の流行による活動自粛の影響で、食料調味料や消毒用高アルコール製品、低価格帯のウイスキーなどの需要が増加したものの、ビールや清酒・焼酎をはじめとする飲食店向けのアルコール飲料、自動販売機飲料や栄養ドリンク等が大きく減少し、ガラスびん業界の出荷量は前年同期比81.3%となりました。このような中、当社の出荷量も減少し、さらに海外子会社において米国で中国ガラスびんメーカーに対する関税措置に関する調査が行われている影響で輸出販売が減少した結果、セグメント売上高は8,921百万円（前年同期比27.1%減）と減収となりました。セグメント利益は、出荷量減少に伴う生産量減少等により、△1,174百万円の損失（前年同期は187百万円の利益）となりました。

② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、新型コロナウイルス感染症の影響等により飲料用キャップの出荷が減少し、セグメント売上高は1,547百万円（前年同期比20.3%減）と減収となりました。セグメント利益は、出荷量および生産量の減少や海外子会社における為替差損の発生等により、△14百万円の損失（前年同期は214百万円の利益）となりました。

③ 物流関連事業

物流関連事業では、取扱い物量の減少等により、セグメント売上高は2,636百万円（前年同期比1.2%減）と減収となりました。セグメント利益は、生産性の改善や配送の効率化、外注費等の費用削減等により、80百万円の利益（前年同期は0百万円の利益）となりました。

④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、5G需要により当社の電子部品用ガラスの出荷が堅調に推移しました。さらに国内子会社では半導体レーザー用部品や高速通信用部品の出荷が堅調に推移し、海外子会社では高速通信用部品の出荷が堅調に推移したため、セグメント売上高は958百万円（前年同期比18.5%増）と増収となりました。セグメント利益は、増収の影響がありましたが、海外子会社において品種構成の変化による製造原単位の悪化等があり、△1百万円の損失（前年同期は△114百万円の損失）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は14,064百万円（前年同期比20.4%減）と減収となり、連結営業利益は△893百万円の損失（前年同期は295百万円の利益）となりました。海外関連会社における工場火災の影響等により持分法による投資損失は591百万円（前年同期は持分法による投資利益307百万円）となったため、連結経常利益は△1,728百万円の損失（前年同期は531百万円の利益）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は△1,376百万円の損失（前年同期は337百万円の利益）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期における通期の業績予想につきましては、当第1四半期までの状況およびその後の経営環境等を勘案して、2020年5月20日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2020年8月12日）公表の「2021年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,308	10,284
受取手形及び売掛金	19,682	18,155
商品及び製品	7,379	7,611
仕掛品	285	280
原材料及び貯蔵品	2,797	2,851
その他	940	920
貸倒引当金	△48	△46
流動資産合計	44,346	40,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,601	7,488
機械装置及び運搬具(純額)	13,651	12,985
工具、器具及び備品(純額)	997	1,030
土地	10,332	10,331
建設仮勘定	583	735
有形固定資産合計	33,167	32,571
無形固定資産		
その他	1,487	1,444
無形固定資産合計	1,487	1,444
投資その他の資産		
投資有価証券	2,658	2,886
関係会社株式	19,525	18,598
退職給付に係る資産	731	730
その他	6,277	6,336
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	29,174	28,533
固定資産合計	63,829	62,550
資産合計	108,175	102,607

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,427	6,595
短期借入金	14,851	13,724
1年内償還予定の社債	1,500	1,500
未払法人税等	280	194
賞与引当金	490	361
その他	5,681	4,646
流動負債合計	30,232	27,022
固定負債		
長期借入金	19,223	18,970
リース債務	925	914
環境対策引当金	9	9
退職給付に係る負債	3,173	3,182
繰延税金負債	346	249
その他	763	683
固定負債合計	24,442	24,009
負債合計	54,675	51,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,696	16,696
利益剰余金	26,818	25,186
自己株式	△1,564	△1,564
株主資本合計	56,026	54,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725	888
繰延ヘッジ損益	△486	△287
為替換算調整勘定	△2,394	△3,046
退職給付に係る調整累計額	△684	△662
その他の包括利益累計額合計	△2,839	△3,107
非支配株主持分	312	288
純資産合計	53,499	51,575
負債純資産合計	108,175	102,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	17,659	14,064
売上原価	14,456	12,241
売上総利益	3,202	1,822
販売費及び一般管理費	2,907	2,716
営業利益又は営業損失(△)	295	△893
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	50	56
持分法による投資利益	307	—
その他	90	107
営業外収益合計	452	167
営業外費用		
支払利息	101	118
持分法による投資損失	—	591
租税公課	28	26
その他	86	265
営業外費用合計	216	1,001
経常利益又は経常損失(△)	531	△1,728
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産廃棄損	—	2
支払補償金	46	—
特別損失合計	46	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	485	△1,728
法人税、住民税及び事業税	110	128
法人税等調整額	55	△462
法人税等合計	165	△334
四半期純利益又は四半期純損失(△)	319	△1,394
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	△17
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	337	△1,376

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	319	△1,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△275	162
繰延ヘッジ損益	△45	199
為替換算調整勘定	68	△164
退職給付に係る調整額	1	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△184	△473
その他の包括利益合計	△435	△270
四半期包括利益	△116	△1,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84	△1,645
非支配株主に係る四半期包括利益	△31	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関して、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから当社グループは外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後2021年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。なお、2022年3月期以降については2020年5月20日に公表した中期経営計画を使用しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による影響は不確定要素が高いため、上記の仮定に変化が生じた場合は、当社グループの財政状態・経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,241	1,940	2,667	809	17,659	—	17,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	133	2,209	1	2,344	△2,344	—
計	12,242	2,074	4,877	811	20,004	△2,344	17,659
セグメント利益 又は損失(△)	187	214	0	△114	287	7	295

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円には、セグメント間取引取消等32百万円、その他の調整△25百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,921	1,547	2,636	958	14,064	—	14,064
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	169	2,093	1	2,265	△2,265	—
計	8,921	1,717	4,730	960	16,329	△2,265	14,064
セグメント利益 又は損失(△)	△1,174	△14	80	△1	△1,110	216	△893

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額216百万円には、セグメント間取引消去等18百万円、その他の調整198百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2020年4月1日付で山村倉庫株式会社を分割会社、山村プラスチックプロダクツ株式会社を分割承継会社とする会社分割を実施しております。これに伴い、従来物流関連事業に含まれていた山村倉庫株式会社について、当第1四半期連結会計期間より、山村倉庫株式会社を物流関連事業、山村プラスチックプロダクツ株式会社をプラスチック容器関連事業に区分しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。